



学校創立142周年

# 百年松

阿木名小中学校便り 令和3年12月15日発行

◇校訓「かしこく やさしく たくましく」  
あ 明るく元気なあいさつができる子ども  
ぎ りぎりまであきらめず努力する子ども  
な 仲よく笑顔いっぱいの子ども  
～花いっぱい、元気いっぱい、笑顔あふれる阿木名っ子～



## 「一意専心」

校長 井上 泉



ある話です。

矢場（弓を射る場所のこと）に立ったある男が、二本の矢を持って  
的に向かっていた。ところが、「おまえは初心者だから、一本にしな  
さい」と白髪の師匠が言った。弓を射るときは二本の矢を持つのが通  
例であり、初心者だからといって一本にしなさいとはどういうことだ

ろうとその男は、不思議に思った。失敗することが多いから、一本では無理だから二本持つと  
言うことならはわかるが…そう思いながら、その男は言われるまま一本で的に貫いた。

「この一矢より他にない」一本の矢に全精神を集中し、その男は見事に的に貫いた。

しかしその男は、師匠の「矢を一本にしなさい」の指示の意味が分からず、考えた末師匠に  
尋ねた。師匠は「深い意味はないよ。ただ二本あればあとの矢を頼みにするから、はじめの矢  
に専心できない。どうしても油断ができる。勝つも負けるも、ただ一矢の覚悟がなくては、何  
十本の矢も無駄になる」と言った。これがだめなら次があるの思いが専心を妨げるということ。

### 一意専心，目的達成に熱中すれば

### 成就できないことはない。

さて、子どもたちの学習やいろいろな取組にも同じ事が言えます。時間がたくさんあると思  
っていれば油断ができます。何事もこの時間しかないの覚悟で取り組ませたいものです。

また子どもたちはそれぞれ不安や心配事，悩み事に胸がいっぱいのことだと思えます。悩み  
等について考えることは必要ですが，考えすぎて余計なことに心惑わされてはなにもなりません。  
そうならないために自分の目標を達成するため集中することです。それによって少なから  
ず，自分のこれまでの結果が形となって出てきます。その結果がどう出ても悔いのない結果で  
あるよう，その時間に集中させることが，私たち周りの大人の役目かと思えます。

新年を迎えるにあたり，子どもたちも私たち大人も心機一転，新しい目標に向かって集中し  
たいものです。



まもなく，令和3年が終わります。今年も新型コロナウイルス  
のため，さまざまな活動が制限されました。しかし保護者や地域の方々  
のご理解やご支援をいただきながら，また先生方・PTAの方々とも創意・  
工夫しながら，何とか行事などを実施してきました。見方を変えれば，「い  
つもどおり」から新鮮な行事の実施につながったのかもしれない。ま

だ油断のできない状況ではありますが，対策をしつつ少しでもさまざまな活動ができる年にし  
たいものです。

皆様，よき年末年始をお迎えください。

良いお年を